



4月の行事予定

4月		
1	月	学年始休業
2	火	企画委員会
3	水	
4	木	全定合同職員会議
5	金	
6	土	
7	日	◆
8	月	始業式・新任式 実力テスト②③ 学級役員選出②③
9	火	入学式 実力テスト②③
10	水	黒門キャリア研修① 個人写真撮影① 実力テスト③
11	木	対面式・部活紹介 黒門キャリア研修①
12	金	スタディーサポート①②③
13	土	
14	日	◆
15	月	職員会議 ミニマナーアップ
16	火	身体計測(5, 6限) 部編成
17	水	前期委員会編成
18	木	七日市藩学習①
19	金	開校記念式典
20	土	
21	日	◆
22	月	
23	火	情報モラル講習会
24	水	内科②(4)
25	木	眼科①③
26	金	内科②(2)①(2) 教育実習生打合せ(15時～)
27	土	
28	日	◆
29	月	◆昭和の日
30	火	◆退位の日

◆は学校閉鎖日

「統合二年目にあたって」

校長 富田 忍

昨年新しい富岡高校が開校し、二年目を迎えることとなります。ご理解とご協力をいただいております。保護者の方々をはじめ、本校に関わる多くの皆様に、感謝とお礼を申し上げます。

旧富岡高校と富岡東高校のよき伝統や実績、更に教育への取組を継承し一年が経過しました。この一年を振り返ったとき、前校長の田村浩一先生のリーダーシップと職員全員の指導力、更に生徒一人ひとりの頑張りが結集され、順調にスタートすることができたと感じております。昨年の取組を基礎基本とし、反省点を生かしながら、より充実した教育活動を目指して、多くの課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。

生徒の皆さんは、将来への目標を明確にして、その達成に向けて努力しながら、本校の歴史を作り上げていく高い意識を持って教育活動に邁進してください。保護者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、教職員一同、効果的な教育活動を実践していきたいと思っております。生徒の人間力を高める学校、地域に根ざした学校、時代を見据えた学校を協力し合って創っていきましょう。

お世話になりますが、よろしく願いいたします。

平成30年度末人事異動における富高転退職者から富高生へのメッセージ

「富岡高校生へ」

校長 田村浩一 (退職)

皆さんと出会い、一緒に新しい高校創りに携われたことをうれしく思い、感謝。正念場はこれからです。「高き心」を抱き、皆さんの、そして富高の「明日」を拓いてください。立場を変えて少し離れたところから、ずっと皆さんを応援しています。

「富岡は第二の故郷」 英語科 一場 哲夫 (前橋清陵高校 教頭)

私は高崎市出身ですが、高校3年間と教員生活11年間(富岡実業高校及び新旧富岡高校)の、計14年間もこの富岡の地で過ごしました。私にとって富岡は、第二の故郷とも言える大切な場所です。

「本気の覚悟があるか!？」

英語科 高橋恵子(藤岡中央高校へ転出)

新富岡高校の2年目が始まろうとしている今、この一年で何を成し遂げるつもりなのか「覚悟」は決まっていますか? 「自分にとっての幸せ」、「自分が望む人生」のイメージを強く持ったら、それを絶対に手に入れるという「本気の覚悟」のみが、そこに到達させてくれる。お互い頑張りましょう。

「ありがとうございました」

地歴公民科 反町豊 (高崎高校へ転出)

何事も自分次第で楽しむことができる。富岡高校で学んだことです。ありがとうございました。みなさんがこれからも前向きに、情熱を持って高校生活を送ってくれることを願っています。

「止まらずに」

国語科 綿貫智康 (前橋工業高校へ転出)

東高を合わせて4年間、お世話になりました。この先、逆境や困難がたくさんあるかと思いますが、どんな時も、自分の信じた道を諦めず、突き進んでください。これまで本当にありがとうございました。

「富高生へ」

地歴公民科 萩原菊男(退職)

昨秋に蒔いた麦。酷寒期に何度も踏まれて、今遅く育っています。正月に仕込んだ味噌、片隅で人知れず、熟成を続けています。結果はすぐに出てきません。倦まず弛まず、自分の力を信じて時を刻んで行こう。花は必ず咲きます。

「富高生へ」

英語科 高瀬 常好 (富岡高校定時制へ転出)

新富岡高校2年目です。今後の「富岡高校」の方向性を決める大事な時だと思います。また、生徒の皆さんが、「各自の進路の方向性」を決める大事な時期でもあります。後悔の無いよう精一杯努力をして下さい。

「富高生へ」

数学科 賀川 詠司 (前橋育英高校へ転出)

富高での1年間は本当にあっという間でしたが、とても充実していました。1度しかない高校生活です。何事にも全力で取り組んでみてください。陰ながら応援しています。

「富高生へ」

地歴公民科 本木 洋帆 (吉井高校へ転出)

1年間という短い間でしたが、ありがとうございました。皆さんのおかげで非常に楽しく、充実した日々を送ることができました。何かのせいにして、自分のやりたいことから目を背けず頑張ってください。まだまだみんなはできると信じています。